

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【公開番号】特開2012-97245(P2012-97245A)

【公開日】平成24年5月24日 (2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2010-271676(P2010-271676)

【国際特許分類】

C 0 9 D 4/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 4/02 (2006.01)

C 0 9 D 5/24 (2006.01)

C 0 8 F 20/34 (2006.01)

C 0 8 F 26/06 (2006.01)

C 0 8 F 20/60 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 4/00

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 4/02

C 0 9 D 5/24

C 0 8 F 20/34

C 0 8 F 26/06

C 0 8 F 20/60

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月13日 (2013.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (I) で表される 帯電防止剤である樹脂改質剤。

【化 1】



(但し、式中、 R^1 は炭素数 8 ~ 22 の炭化水素基、 B^+ は重合性不飽和基を有するアンモニウムイオン (C) を示す。)

【請求項 2】

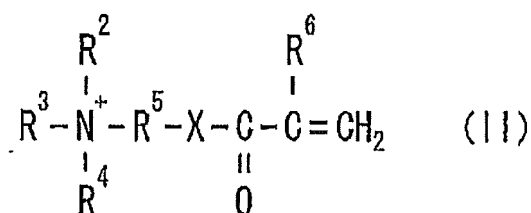
活性エネルギー線硬化性を有する請求項 1 に記載の樹脂改質剤。

【請求項 3】

前記アンモニウムイオン (C) が、下記式 (I I) 又は下記式 (I I I) で表される請

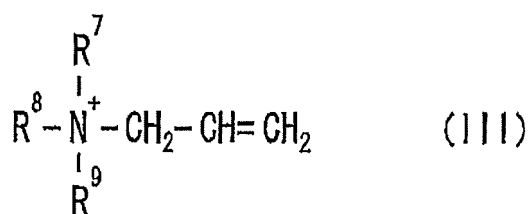
求項 1 又は 2 記載の活性エネルギー線硬化性を有する樹脂改質剤。

【化 2】



(但し、式中、 R^2 、 R^3 、 R^4 はそれぞれ独立して水素原子または炭素数 1 ~ 8 の炭化水素基、 R^5 は炭素数 2 ~ 5 のアルキレン基、 R^6 は水素原子またはメチル基、 X は O または NH を示す。)

【化 3】



(但し、式中、 R^7 、 R^8 はそれぞれ独立して水素原子または炭素数 1 ~ 8 の炭化水素基、 R^9 は炭素数 1 ~ 8 の炭化水素基を示す。)

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の樹脂改質剤と有機溶媒とを含むコーティング組成物。

【請求項 5】

更に、活性エネルギー線の照射により反応し得る樹脂又は樹脂単量体を含む請求項 4 記載のコーティング組成物。

【請求項 6】

更に、イオン液体を含む請求項 4 又は 5 記載のコーティング組成物。

【請求項 7】

更に、導電性高分子を含む請求項 4 ~ 6 のいずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 8】

請求項 4 ~ 7 のいずれかに記載のコーティング組成物を基材にコーティングした後、活性エネルギー線を照射して、前記基材上にコーティング膜を形成するコーティング膜の製造方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載の製造方法により得られるコーティング膜。